

MATSUDO CITY MONTHLY NEWS 松戸市感染症情報



発行日：2026年10月14日
発行：健康医療政策課
次回は11月11日 発行予定

表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				インフルエンザ			
	9/7~ 9/13	~9/20	~9/27	~10/4	9/7~ 9/13	~9/20	~9/27	~10/4	9/7~ 9/13	~9/20	~9/27	~10/4	9/7~ 9/13	~9/20	~9/27	~10/4
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	2.30	3.84	2.80	2.25	97.35	131.79	86.80	122.90	6.18	6.91	3.82	2.09	9.10	20.42	20.70	26.25
定点医療機関数	20	19	20		20	19	20			11			20	19	20	
前週比	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑
コメント	年代別の患者割合は29歳以下が半数以上を占めています。0歳から29歳・・・57.8% 30歳から59歳・・・26.7% 60歳以上・・・15.6%				急性呼吸器感染症の感染拡大に備え、手洗い・手指消毒・咳エチケット・換気などの、基本的な感染対策を行いましょ。				秋から冬にかけて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行します。今後、患者数が増加することが予想されます。おう吐物処理の後や、おむつ交換の後は30秒以上手を洗いましょ。				全国的に患者数が増加しています。松戸保健所管内では、14歳までの方が全体の6割を占めています。			
千葉県	1.98	2.79	1.35	1.81	58.61	76.69	44.62	70.48	3.15	2.95	1.69	2.10	8.63	14.16	9.76	18.72
前週比	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↓	↑
東京都	2.41	2.91	1.28	1.76	59.48	74.33	43.38	65.79	3.95	4.39	2.40	3.69	9.53	15.14	9.51	15.87
前週比	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑

災害時に注意すべき感染症

災害時には、汚染水の誤嚥による肺炎や創部感染など、感染症の危険が増加します。
具合が悪くなった場合には、早めに医療機関を受診し、ご自身の活動内容（大雨で被災した、浸水した家屋の清掃作業をした等）について伝えましょ。清掃作業時には、ほこりから目や口を保護するためにゴーグル・マスクを、けがの予防のために丈夫な手袋・底の厚い靴等を着用しましょ。

代表的な病気

○レジオネラ症

レジオネラ肺炎の潜伏期間は2日から10日で、全身倦怠感、頭痛にはじまり、咳や発熱、呼吸困難、下痢などの症状が出ます。河川の水等を誤嚥したり、汚染された土の粉塵を吸い込むことで感染することから、清掃作業等を行う場合にはマスクを着用しましょ。県内では今年に入り（第40週まで）113名の報告があります。



○破傷風

潜伏期間は3日から21日（平均10日）で開口障害、顔面けいれん、嚥下困難などの症状が出ます。ワクチン接種が有効です。1968年に定期接種化されましたが、接種歴のない高齢者を中心に報告があります。けがをした場合には、傷口をきれいに洗いましょ。県内では、今年（第40週まで）5名の報告があります。



米国で麻疹(はしか)感染者増加 県内でも発生

今年の7月以降、ニューヨーク州をはじめ、全米で麻疹の感染者が急増しており、米疾病予防管理センターによると、10月1日時点で3,887人の感染が確認され、過去30年で最多となっています。県内でも、第39週に1例確認され、今年の合計が33例となり、昨年1年間の人数をすでに上回っています。流行している地域に行かれる際には、帰国後の体調の変化に留意しましょ。

昨年より5週間早く インフルエンザ注意報発令！

千葉県は、2026年第38週（9/14～9/20）におけるインフルエンザ定点あたりの患者報告数が14.36人となり、国が定める注意報基準値（10）を超えたため、インフルエンザの予防対策をさらに徹底していただくことを目的に注意報を発令しました。今年は、昨年に比べて5週間ほど早い発令となりました。

松戸保健所管内で患者数増加！

千葉県では2026年第40週の定点医療機関の協力による迅速診断結果のうち、98.1%がA型となっており、松戸保健所管内の報告数が県内で最も多い状況です。十分な休養とバランスのとれた食事の摂取、手洗い等の手指衛生などを行い、インフルエンザ感染を防ぎましょ!!

10/1から高齢者の定期予防接種を開始。

インフルエンザは、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあるため、体力のない高齢者などは、特に注意が必要です。手洗いや咳エチケットの励行に努め、重症化を予防するための予防接種を検討しましょ。



市ホームページ
高齢者の定期
予防接種

インフルエンザかな？と思ったら・・・

インフルエンザが疑われる場合、受診の目安は発熱後12～48時間が一つの目安になります。ただし、妊娠中の方、乳幼児、高齢者、慢性疾患の方等は、重症化しやすいため体調の変化に注意しましょ。

高齢者では、インフルエンザの典型的な症状が出にくいこともあります。「だるい」「食欲がない」「いつもよりぼーっとしている」などの状態が続くなど、「いつもと違う」と感じたら、早めに受診しましょ。

